

50V型 | 4K
ULTRA HD TV

4K液晶テレビ

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

GH-TV50Aシリーズ

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

最初に「安全上の注意」(P.1)、
「同梱品の確認」(P.5)をご確認ください。

安全上のご注意	1
使用上のお願い	4
同梱品の確認	5
各部名称	6
スタンドの取り付け	10
テレビを設置する	11
テレビ番組を楽しむ	14
データ放送を楽しむ	17
外部入力 of 画面に切り替える	18
便利な機能を使う	19
文字を入力する	21
録画・予約機能について	22
録画用 USB ハードディスクの接続をする	23
USB ハードディスクの設定をする	24
録画の基本的な設定をする	26
番組を録画する	27
日時を指定して予約をする / 番組を検索して録画・予約をする	28
予約・録画の優先順位と予約の動作について	29
録画した番組を再生する	30
インターネットを利用するための接続をする	32
インターネットを利用するための設定をする	33
チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	35
お買い上げ時の設定に戻すには	36
対応フォーマット	37
アイコン一覧	38
主な仕様	39
故障について	40




修理のご依頼は、弊社カスタマサポートへご依頼の上、弊社指定住所へお送りいただくセンドバック対応となり、出張修理や同時交換などの個別対応は行っておりませんため、購入時の梱包材は保管しておくことをお勧めいたします。

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

表示の説明

 危険	この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントからプラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険

異常が発生した場合



コンセントからプラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、弊社カスタマサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

異音が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音が出なくなったことをご確認の上、弊社カスタマサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、弊社カスタマサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、弊社カスタマサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

異臭が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭が出なくなったことをご確認の上、弊社カスタマサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、弊社カスタマサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告

使用について



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。弊社カスタマサポートへご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社(03-5421-2255)までご相談ください。

電源について



AC100V以外
使用禁止

電源ケーブルは、100ボルト交流電源(AC100V)のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。

日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定期的に
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、電源ケーブルをコンセントから取り外して行ってください。電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

電源ケーブルのコードは、傷つけないでください。ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。



禁止

電源ケーブルに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。

破損した電源ケーブルから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、製品に触れないでください。

感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。

感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コードひっぱり
禁止

電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。

コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



コードひっぱり
禁止

アース線は、必ず接続してください。

アース線を接続しないで使用すると、火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

アース線の接続は、事前に電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線の取り外しは、事前に電源プラグをコンセントから取り外してから行ってください。感電の危険があります。



禁止

電源コードは、製品に付属の電源コードセットを使用してください。また、製品に付属の電源コードセットを、他の製品で使用しないでください。火災や感電の危険があります。

設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



水濡れ禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

使用について



分解や改造禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。

電池について



指定外の電池使用禁止

指定の電池を使用してください。
指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を取り外して

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れてください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。
誤飲や窒息の危険があります。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- ・製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ・電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- ・製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- ・電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
- ・視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- ・疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- ・映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- ・本製品は、24時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：液晶パネル、バックライト、電源ユニット)

製品のお手入れについて

- ・お手入れの際は、事前に電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- ・汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ・ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- ・化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ・ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ・強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ・殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ・ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- ・シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

製品の温度について

- ・密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。

結露(つゆつき)について

- ・温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- ・結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- ・結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- ・寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- ・磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- ・電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- ・磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- ・長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

免責事項

- ・取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

同梱品の確認

パッケージの中に下記のものが入っているか、ご確認ください。

- 液晶テレビ本体
- 専用電源ケーブル
- 専用リモコン
- リモコン用乾電池（単4形乾電池×2）
- miniB-CASカード
- miniB-CASカードカバー
- miniB-CASカードカバー用ネジ
- 取扱説明書
- 保証書
- テレビスタンド×2本
- テレビスタンド取付用ねじ×4本

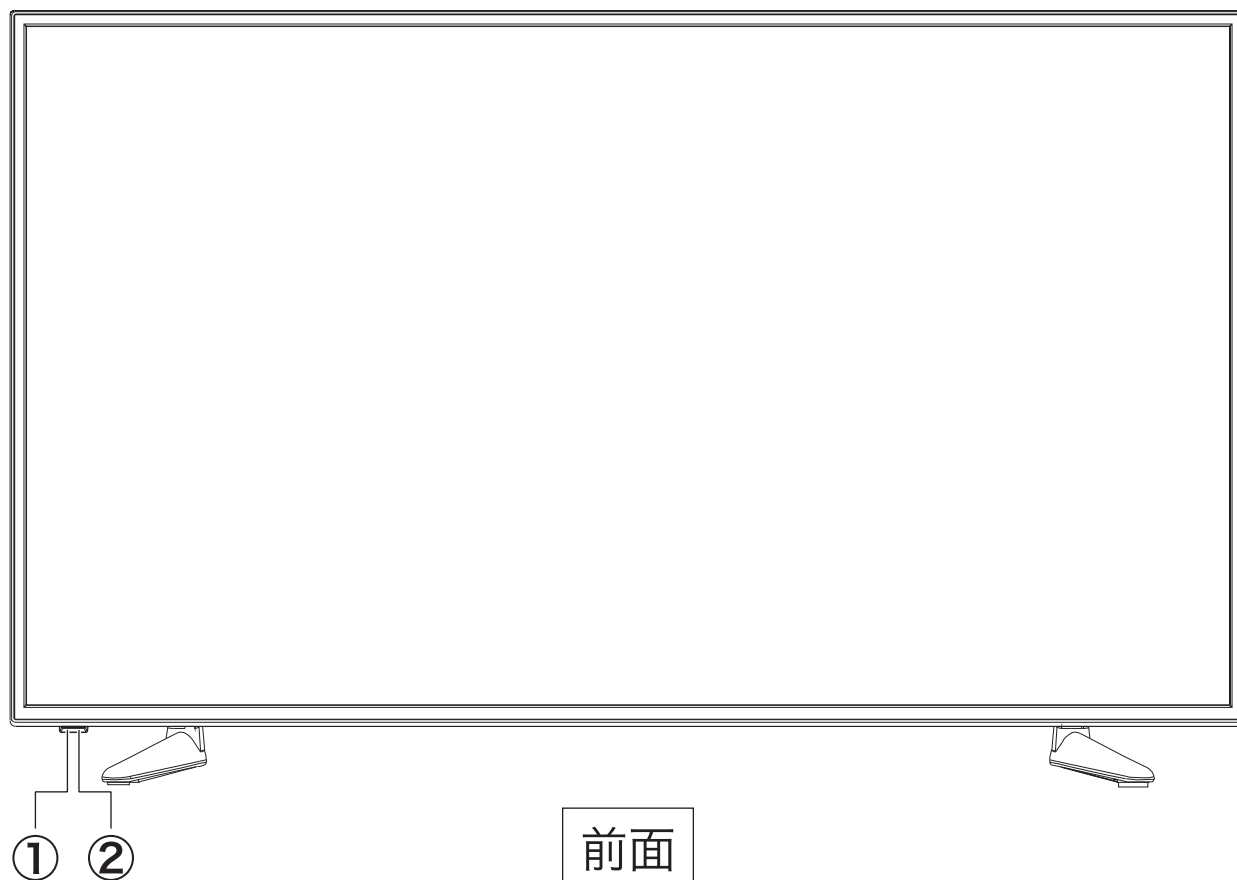
※アンテナケーブルは付属しておりませんので、別途ご用意ください。



-
- 付属品のお買い求めは『グリーンハウスストア』をご確認ください。
グリーンハウスストア ホームページ（<https://www.greenhouse-store.jp/>）

各部名称

本体

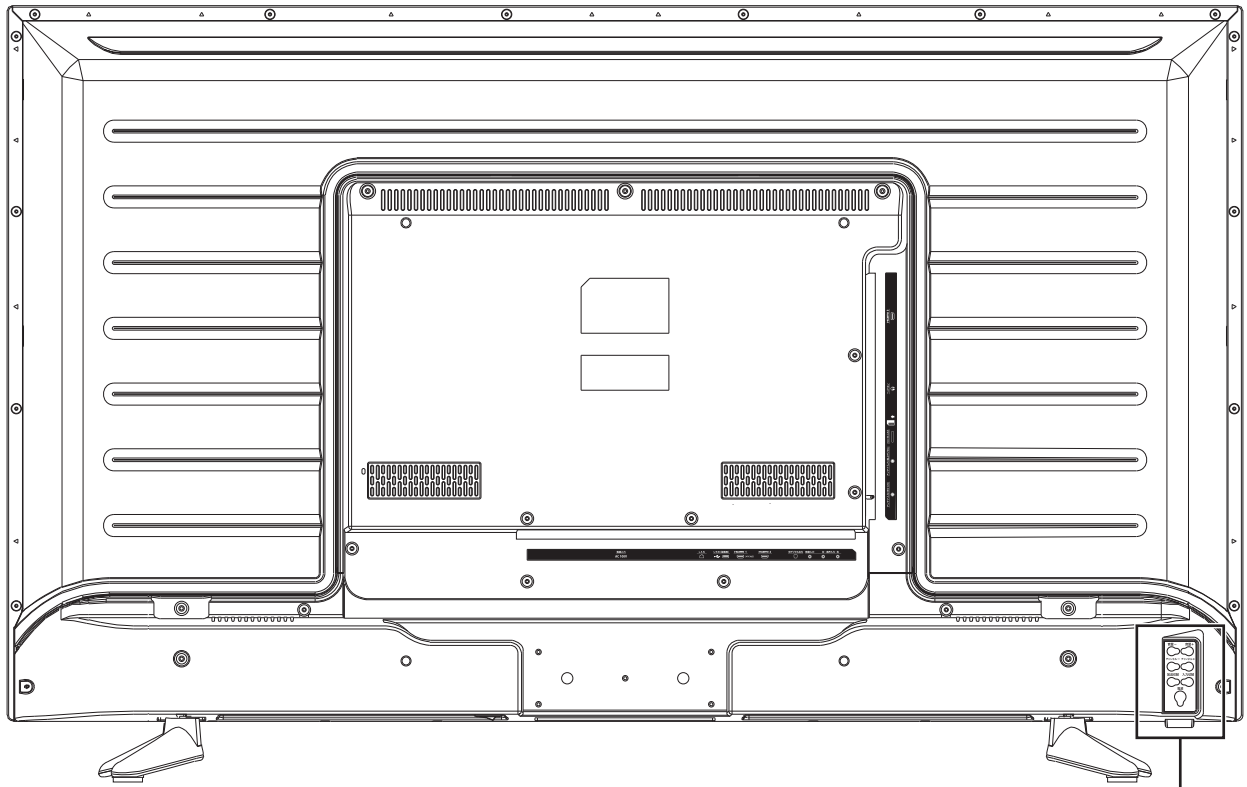


① 電源 LED

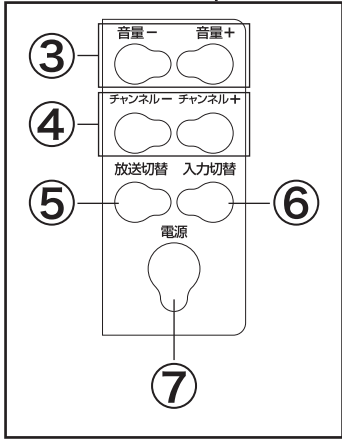
待機状態：赤点灯 / 映像表示状態：青点灯

② リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。



背面



③ 音量 +/-

スピーカーの音量調整を行います。

④ チャンネル +/-

チャンネルの順送り / 逆戻しします。

⑤ 放送切替ボタン

表示するテレビ放送を、地上デジタル放送 / BS 放送 / CS 放送に切り替えます。

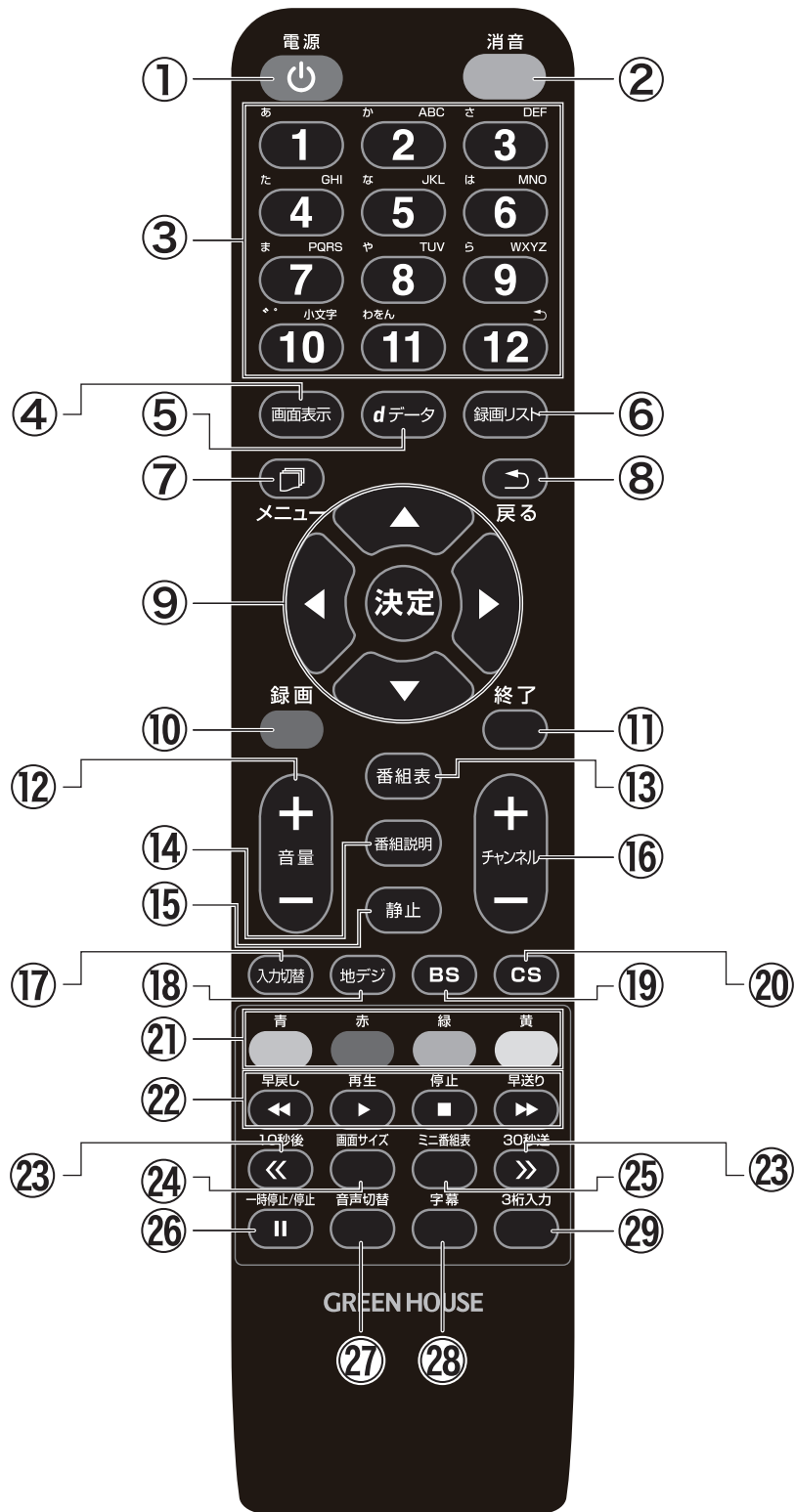
⑥ 入力切替ボタン

表示する映像信号を、テレビ放送 / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / ビデオに切り替えます。

⑦ 電源ボタン

主電源を ON / OFF に切り替えます。

リモコン



① 電源

電源のオン・待機を切り替えます。

② 消音

音量を一時的に 0 にします。

③ 1～12テンキー

チャンネルの直接選局に使用します。

④ 画面表示

現在視聴している番組の情報と、現在時刻を表示します。

⑤ dデータ

データ放送を表示します。

⑥ 録画リスト

録画リストを表示します。

⑦ メニュー

メニューを表示します。

⑧ 戻る

メニューにおいて、前の項目に戻る場合に使用します。

⑨ ▲◀▶▼ 決定

カーソルの選択、決定に使用します。

⑩ 録画

現在視聴している番組の録画を開始します。

⑪ 終了

録画を終了する場合に使用します。

⑫ 音量+/-

音量の上げ / 下げをします。

⑬ 番組表

番組表を表示します。

⑭ 番組説明

現在視聴している番組の詳細情報を表示します。

⑮ 静止

映像を一時的に静止します。

⑯ チャンネル

視聴チャンネルを順送り / 逆戻しします。

⑰ 入力切替

表示する映像を、
テレビ放送 / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / ビデオに切り替えます。

⑱ 地デジ

視聴する映像を地上デジタル放送に切り替えます。

⑲ BS

視聴する映像を BS 放送に切り替えます。

⑳ CS

視聴する映像を CS 放送に切り替えます。

㉑ 青、赤、緑、黄

データ放送やメニューの選択に使用します。

㉒ ◀◀ ▶▶ ■ ▶▶

録画番組視聴時において、早戻し、再生、停止、早送りを行う場合に使用します。

㉓ << >>

録画番組の番組カテゴリーの移動に使用します。

㉔ 画面サイズ

画面サイズをフル / ワイド / ズームに切り替えます。

㉕ ミニ番組表

ミニ番組表を表示します。

㉖ 一時停止 / 静止

映像を一時的に停止します。

㉗ 音声切替

音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。

㉘ 字幕

字幕を表示します。

㉙ 3桁入力

チャンネル切替を 3 桁の番号指定で行います。

スタンドの取り付け

⚠ 注意

- 必ず2人以上で取り付け作業をしてください。
1人で作業すると、ケガなどの原因となります。
- 画面を押ししたり、強く握らないでください。
画面を強く押ししたり、強く握ったりすると、破損するおそれがあります。

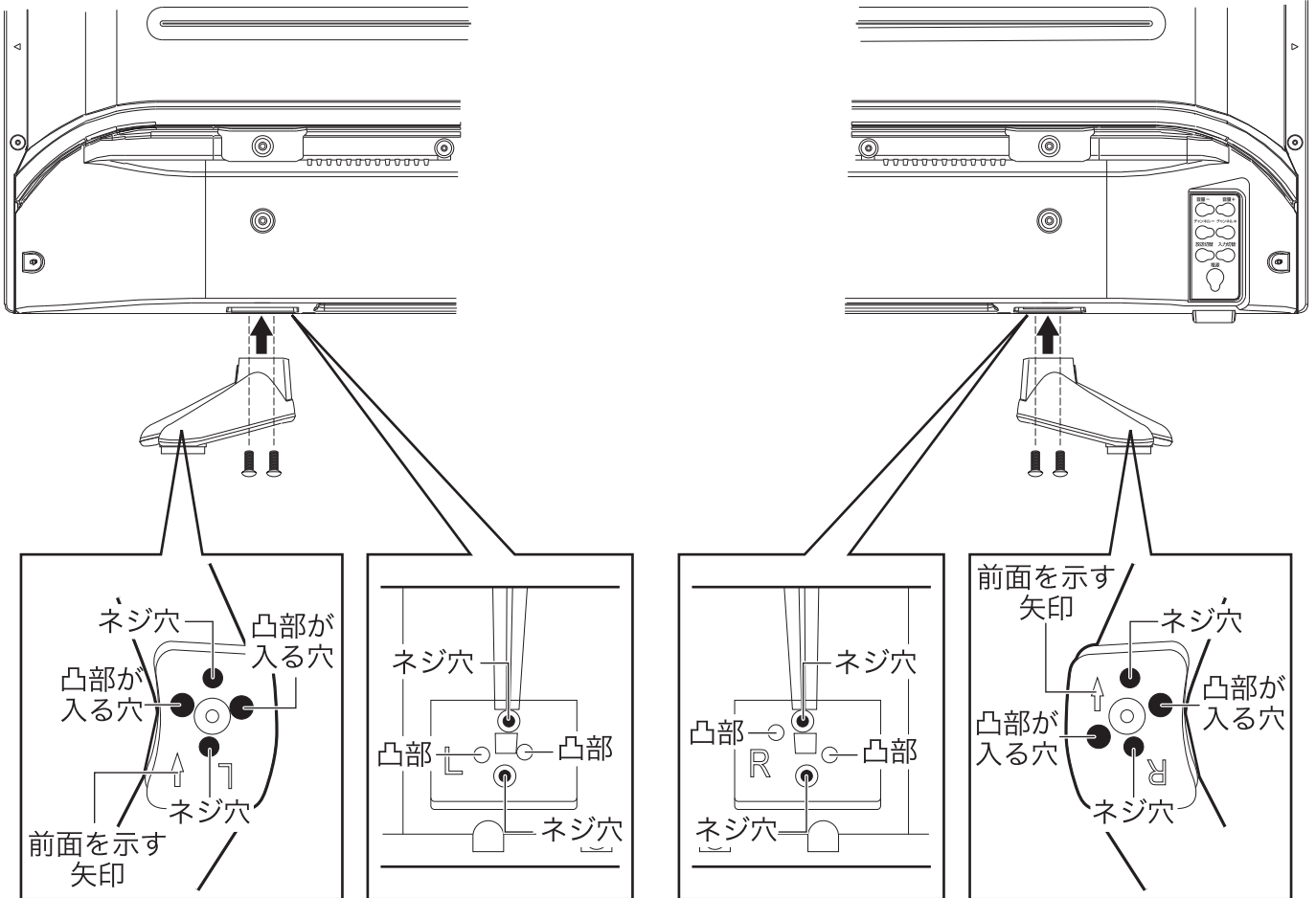
お知らせ

- 本製品の組み立てにはプラスドライバーが必要です。

スタンドをガイドに合わせて差込み、ネジを2本ずつ締めます。

左

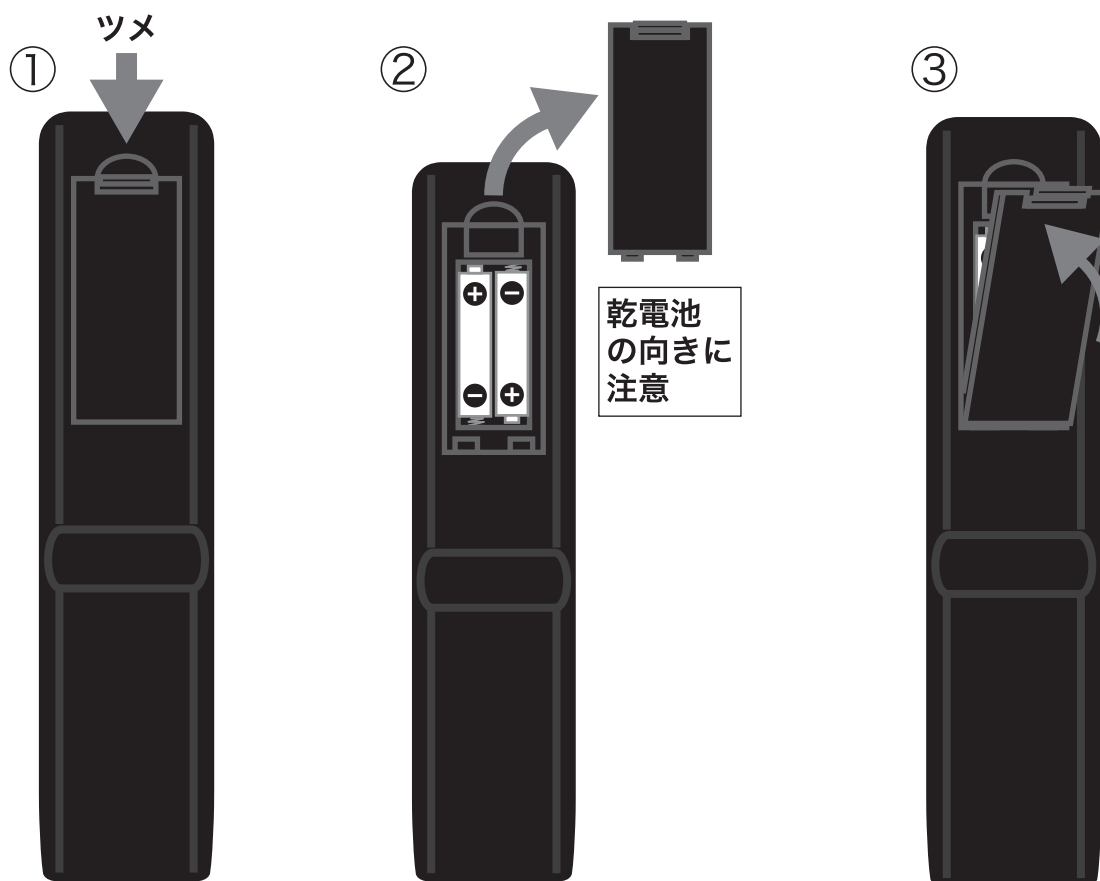
右



テレビを設置する

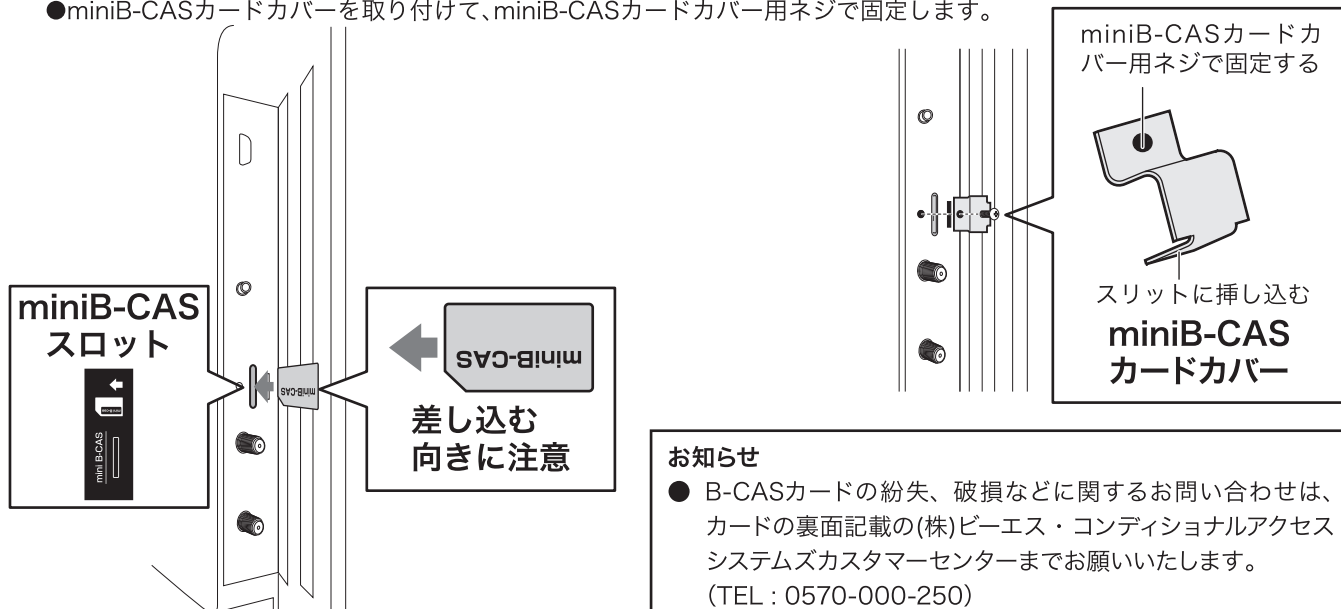
1 リモコンに乾電池を入れる

- ①矢印のツメを押して、電池カバーを押し上げる。
- ②+ 極、- 極の向きを確認し、正しい向きに単 4 形乾電池 2 本を入れる。
- ③電池カバーがカチッと音がするまで押して閉める。

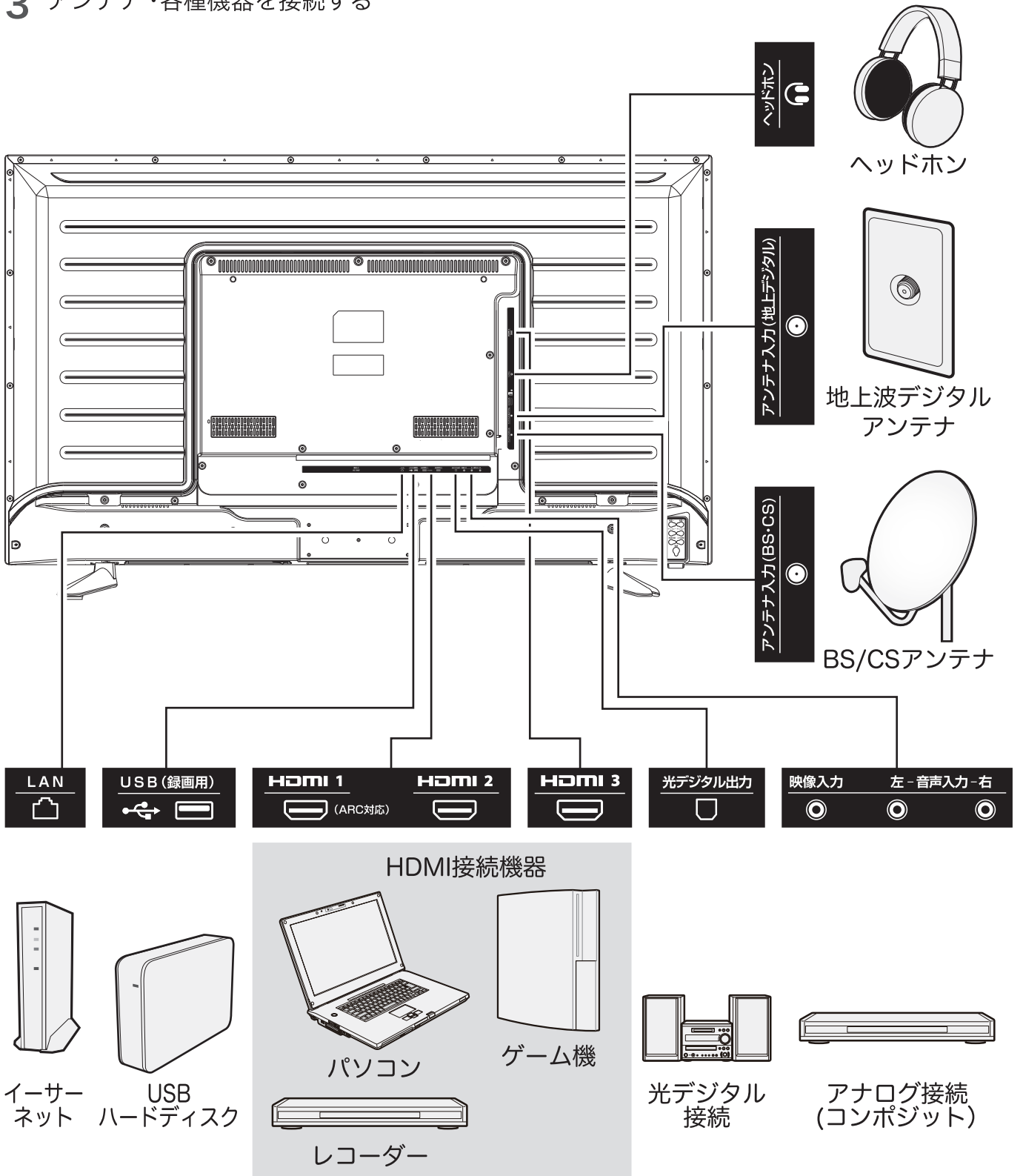


2 miniB-CAS カードを差し込む


- miniB-CASカードを本体右側面のminiB-CASスロットへ入れます。
- miniB-CASカードカバーを取り付けて、miniB-CASカードカバー用ネジで固定します。



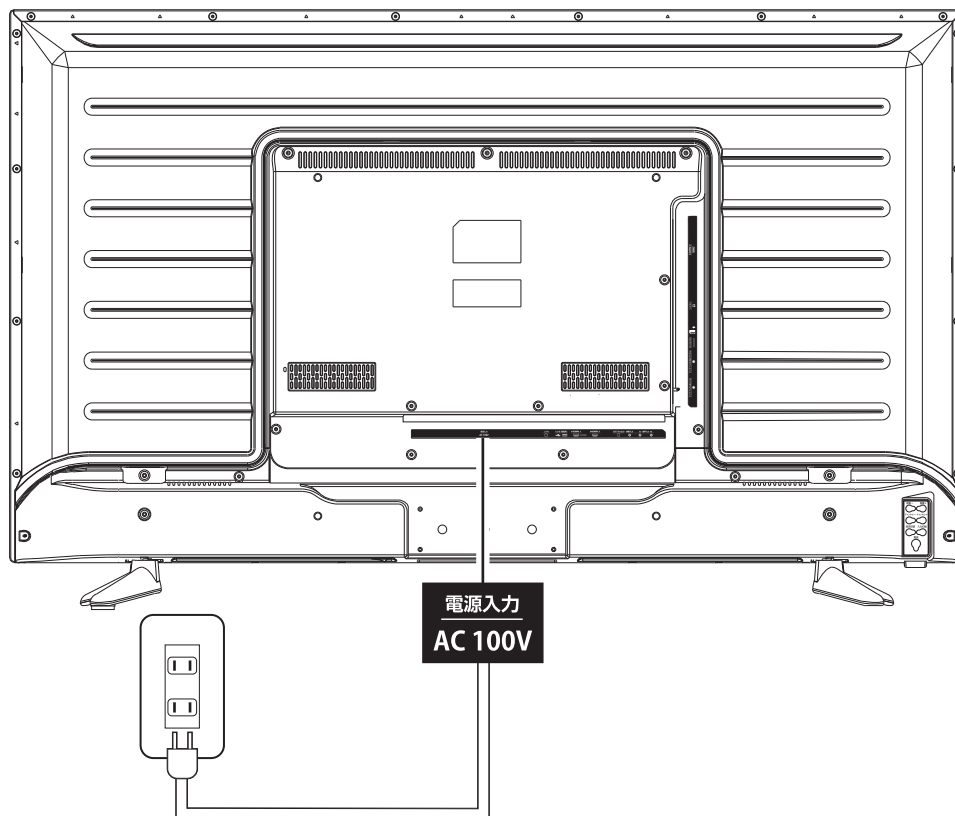
3 アンテナ・各種機器を接続する



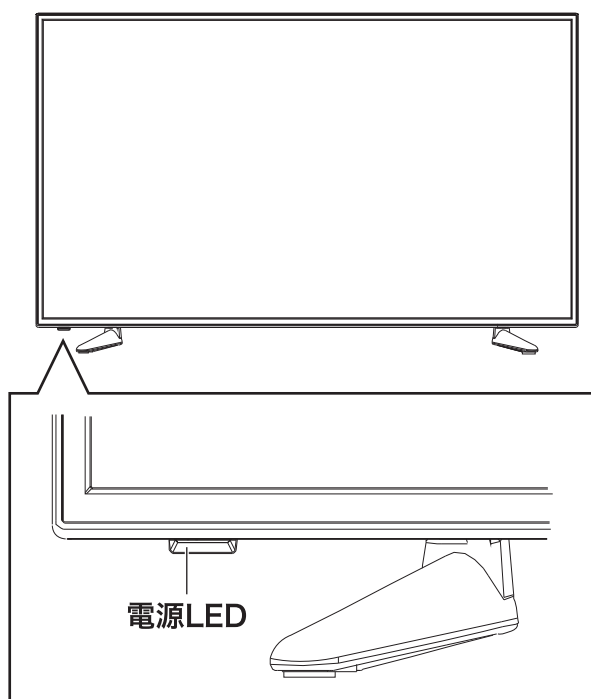
4 コンセントに電源を挿し込み、テレビの電源をオンにする

- ①電源プラグをコンセントに挿し込むと、前面左下の電源 LED が赤色か青色に変わり電源が入ります。
- ②電源 LED が赤点灯の場合は、テレビが待機状態であるため、リモコンの  ボタンを押します。

①



②



電源LEDが
赤点灯(待機
状態)の場合

電源ボタンを押す

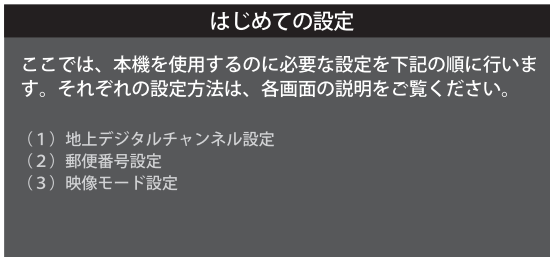


テレビ番組を楽しむ

「はじめての設定」について

※miniB-CASカードが正しく挿入されていないと「はじめての設定」ができませんので、事前にご確認ください。
※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直してください。

はじめて電源を入れたときに「はじめての設定」の説明画面が表示されます。



画面の説明を読んだら **決定** を押します。

「はじめての設定」の流れ

テレビを使用できるようにするための基本的な設定をします。

① 地上デジタルチャンネル設定

お住まいの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。

② 郵便番号設定

郵便番号を設定することで、お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

③ 映像モード設定

いくつか用意されている映像モードの中から選んで、好みのメニューに設定します。

①地上デジタルチャンネル～③映像モードの設定をする

画面の指示にしたがって以下の方法で設定していきます。

▲▼◀▶ で項目を選び、**決定** で決定して進んでいきます。

「郵便番号設定」では、**1** ～ **10** (0) を使用します。



■「地上デジタルチャンネル設定」について

- 「はじめての設定」や「初期スキャン」をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをテレビが探し、リモコンの **1** ～ **10** に自動設定します。（「はじめての設定」や「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません）

■地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。
- 地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

「はじめての設定」をやり直すとき

「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで「はじめての設定」をやり直すことができます。

1 **メニュー** を押し、▲▼と **決定** で「設定」⇒「初期設定」⇒「はじめての設定」の順に進む

- 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、**決定** を押す

- ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動で好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度手動設定をしてください。
- データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、設定内容が反映されないことがありますので、設定終了後にデータ放送を選局し直してください。

テレビ番組を楽しむ っづき



リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ BS CS で放送の種類を選ぶ

- 視聴している放送と同じ種類の放送を視聴する場合、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の三通りの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

- ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** で選局します（下の「お知らせ」をご覧ください）

※BS デジタル放送のワンタッチ選局には、2種類あります。

- ・通常はグループA（BS101（NHKBS1）～BS222（TwellV））のワンタッチ選局になります。
- ・グループB（BS231（放送大学BS1）～BS258（Dlife））の放送局をワンタッチ選局する場合は、手順1でBSデジタル放送を選んだあと **BS** を押し、選局ガイドを表示している状態で、**1** ~ **12** ボタンを押します（選局ガイド表示中は **BS** を押すたびに、選局ガイド表示が切り換わります）

※BSデジタル放送やCSデジタル放送の視聴には専用アンテナの設置とアンテナケーブルの接続が必要になります。

チャンネル+ - ボタンで選局する（順次選局）

- **+ / -** でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

チャンネル番号は番組表で確認できます。

- 1 **メニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「その他の操作」⇒「チャンネル番号入力」と進む

- ・視聴中の放送の種類に応じて、画面の右上に **地デジ---**、**BS---**、**CS---** のどれかが表示されます。

- 2 **1** ~ **10** (0) でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合 **1** **10** (0) **3** の順に押します（「0」は **10** で入力）

- ・入力した番号を消すには、**◀** を押します。

- ・ **11** (*) を使った入力ができます。例 **3** **11** → 300番台の最小チャンネル

■枝番のついた放送一覧が表示された場合は、放送を選択してください

- ・ **▲・▼** で選んで **決定** を押すか、**10** (0) ~ **9** で枝番を指定して選びます。

放送を選択してください			
1	地デジ 011	(0)	NHK
10	地デジ 011	(1)	NHK
11	地デジ 011	(2)	NHK
	地デジ 011	(3)	NHK

お知らせ

- **1** ~ **12** でワンタッチ選局ができるのは下記のとおりです。



- ・ **地デジ** を押したとき→「はじめの設定」で各ボタンに登録されたチャンネル
- ・ **BS** を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル
- ・ **CS** を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(**1** と **2** のみ)

◇一つの放送局が複数のチャンネルで異なる番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。

- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域と同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。

テレビ番組を楽しむ つづき

メニューについて

-  を押してメニューを表示し、さまざまな便利機能を使うことができます。
- メニューの内容は、 を押すときの場面によって変わります。
- メニューで選択できる項目は、入力の種類や外部機器の有無やテレビの動作状態によって変わります。
選択できない項目は、薄く表示されます。

メニュー
映像設定
音声設定
タイマー設定
画面サイズ切替
ミニ番組表
番組説明
週ドラ予約
スピーカー切替
親切ヘッドホン音量
その他の操作
設定

- | | |
|--------------|--|
| 1. 映像設定 | 映像にあわせて、お好みの映像モードに変更したり、映像の輝度や色合いを変更することができます。 |
| 2. 音声設定 | お好みの音声に調整することができます。 |
| 3. タイマー設定 | 時計表示やアラートの設定、オフタイマーの設定をすることができます。 |
| 4. 画面サイズ切り替え | 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り替えることができます。 |
| 5. ミニ番組表 | 画面下部に番組表を表示することができます。 |
| 6. 番組説明 | 視聴中の番組の詳細な情報を確認することができます。 |
| 7. 週ドラ予約 | 視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。 |
| 8. スピーカー切替 | 音声の出力をスピーカーにするか外部スピーカーにするか選ぶことができます。 |
| 9. 親切ヘッドホン音量 | 親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。 |
| 10. その他の操作 | 「その他の操作」メニューを開くことができます。 |
| 11. 設定 | テレビの機能設定や、外部機器設定、設定初期化ができます。 |

その他の操作
予約リスト
信号切替
チャンネル番号入力
アンテナレベル表示
データ放送終了
テレビ / ラジオ / データ切替
お知らせ
ソフトウェアバージョン

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. 予約リスト | 予約リストを表示することができます。 |
| 2. 信号切替 | 「信号切替」メニューを開くことができます。 |
| 3. チャンネル番号入力 | チャンネル番号を入力して選局することができます。 |
| 4. アンテナレベル表示 | 映りが悪いときなどにアンテナレベルを確認することができます。 |
| 5. データ放送終了 | データ放送の視聴を終了します。 |
| 6. テレビ / ラジオ / データ切替 | 視聴する放送メディアを切り替えることができます。 |
| 7. お知らせ | テレビや放送局からのお知らせがあった時に内容を確認することができます。 |
| 8. ソフトウェアバージョン | テレビのソフトウェアバージョンを確認することができます。 |

信号切替
映像信号切替
音声信号切替
音多切替
データ信号切替
字幕切替
降雨対応放送切替

- | | |
|-------------|---|
| 1. 映像信号切替 | 一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り替えることができます。 |
| 2. 音声信号切替 | 一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り替えることができます。 |
| 3. 音多切替 | 二か国語放送など、音声多重放送の場合に聞きたい音声を選ぶことができます。 |
| 4. データ信号切替 | 一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り替えることができます。 |
| 5. 字幕切替 | 番組で字幕が提供されている場合に、字幕の選択と表示 / 非表示を切り替えることができます。 |
| 6. 降雨対応放送切替 | 豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り替えることができます。 |

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物したりすることができます。(電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

非リンク型サービス



放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)

暗号通信



SSL(Secure Sockets Layer)などの暗号通信に対応しています。
そのサービスの際に、このアイコンが表示されます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、 を押します。



- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などでは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定を行ってください。双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、しばらく操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜くと、テレビが記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

外部入力画面に切り替える

- 本機の外部入力端子 (HDMI 入力 1～3、ビデオ入力) に接続したDVD・ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切替 を押す

3 入力切替 を繰り返し押すか、▲・▼ を押して入力を選ぶ

- 入力切替 を押すたびに以下のように切り替わります。

→テレビ放送 →HDMI1 →HDMI2 →HDMI3 →ビデオ

- ・▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- ・お買い上げ時の設定では、機器が接続されていない入力はスキップされます。
- 少し待つと選択した入力に切り替わります。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。



●HDMI1～2は、解像度FullHD(1920x1080)まで、HDMI3は、解像度4k UHD(3840x2160)まで対応しています。


便利な機能を使う

他の映像・音声・データを切り替える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り替えることができます。
- 番組情報画面に「**二重音声**」のアイコンが表示されます。

1 を押す

-  を押すたびに以下のように切り替わります。




- メニューの「音多切替」でも音声の切り替えができます。

音声を切り替える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り替えることができます。
- 番組情報画面に「**信号切替**」のアイコンが表示されます。

1 を押す

-  を押すたびに以下のように切り替わります。



- サブメニューの「音声信号切替」(次の説明)でも音声の切り替えができます。

映像、音声、データを切り替える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があります、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り替えられる番組は、番組説明画面に「**信号切替**」のアイコンが表示されます。

1 を押し、▲・▼と で「その他の操作」⇒「信号切替」の順に進む

2 切り替える信号を▲・▼で選び、 を押す

- 視聴中の番組で切り替えのできない信号は、薄く表示されます。


信号切替
映像信号切替
音声信号切替
音多切替
データ信号切替



■ 信号切替について

- 選局操作をすると、信号切替で選択した状態は取り消され、基本の信号を選択した状態になります。
音多切替と字幕切替では、選局しても状態は取り消されません。


3 視聴したい映像、音声、データを▲・▼で選び、 を押す

- 「信号切替」のサブメニューに表示される「音声信号切替」、「音多切替」は、 で選択する機能と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに使えます。

1 を押す

- 映像が静止します。
- 解除するときは、もう一度  を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。




- データ放送視聴中は静止画にできません。
- 映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り替わると、静止が解除される場合があります。



便利な機能を使う つづき

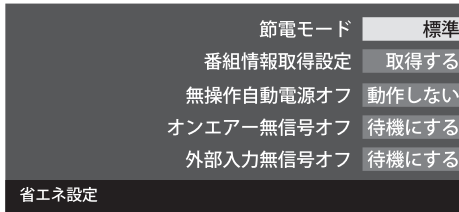
省エネ設定をする

●省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1  を押し、「設定」を選択し、「機能設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

●「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を  で選び、 を押す



2 お好みの設定を  で選び、 を押す

- 液晶画面のバックライトの明るさを抑えることでテレビの節電ができます。
- 「減1」、「減2」に切り替えた場合、画面の明るさに適した画質に自動調整されます。(「映像モード」が「ライブ」、「映画」の場合、画質は変わりません)

節電モード

- ・標準 標準の明るさです。
- ・減1 画面の明るさを抑えて、節電します。
- ・減2 画面の明るさを「減1」よりも抑えて、さらに節電します。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく機能させるために、「取得する」でを使用することをおすすめします。
- ・取得する .. 電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- ・取得しない .. 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりする場合があります。

無操作自動電源オフ

- ・待機にする .. テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- ・動作しない .. テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエア無信号オフ


- ・待機にする .. 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - ・動作しない .. 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
- ※外部入力を選んでいるときは機能しません

外部入力無信号オフ


- 待機にする .. 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- 動作しない .. 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホン使用時の音の出かたを設定します。
- ヘッドホンモードには「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。

1  を押し、『設定』を選択し、「音声設定」⇒「ヘッドホン／音声出力設定」⇒「ヘッドホンモード」の順に進む







- ・通常モード ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。
- ・親切モード ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

●親切モードのとき、スピーカーの音量は  で調整します。



- ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」にしてください。



ヘッドホンの音量調節のしかた

- 「通常モード」に設定しているときは、 で調節します。
- 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。
 - 1  を押し、 と  で「その他の設定」⇒「親切ヘッドホン音量」の順に進む
※ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。
 - 2  で音量を調節する
※  でも調節できます

外部スピーカーで聴く

- ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して使用時の音の出かたを設定します。

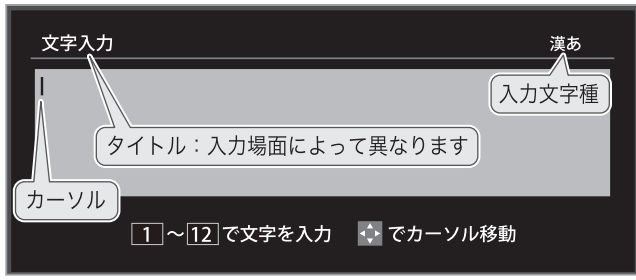
1  を押し、 で「スピーカー切替」を選び、 を押す

2  で「AVシステムのスピーカーで聴く」を選んで  を押す

- テレビのスピーカーから音は出ません。
- 「外部スピーカー出力設定」が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節し、「可変」の場合は、テレビのリモコンで音量を調節します。

文字を入力する

- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。

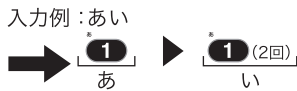


1 文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。



- 文字に続けて **10** を押せば、濁点 (゜) や半濁点 (゜) の入力や小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に **▶** を押します。



- 入力文字の種類を変えるときは、**画面表示** を押します。
- 変換中の文字を一つ前の順序の文字に戻したいときは、**12** を一回押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を **▲・▼・◀・▶** で選んで入力します。
- スペースを入力するときは、**11** を7回押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、**メニュー** を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、**メニュー** を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、**決定** を押す
- 漢字に変換するとき、**▼** を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら **決定** を押す。
希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を **◀▶** で変え、**▲・▼** で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、**決定** を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

入力モード切替

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り替えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ →か→け	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →つ	タ→チ→ツ→テ→ト →ツ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	・→ ^{小文字} 小文字変換	・→ ^{小文字} 小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→、→。→ →→ (スペース)	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。→ →→ (スペース)	※1	*

- 最後の候補の次は、最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→/→:→→→→→→@
半角英字の場合…….→/→:→→→→→→@



- 入力した文字は、次のように表示されます。

入力中の文字: 黄色背景 / 未確定の文字: 白色背景 / 漢字変換候補選択中の文字: 黒色背景 / 確定した文字: 背景なし

- 確定せずに変換できるのは4文節までとなり、4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に **戻る** を押すと、その文節を未変換状態に戻すことができます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- テレビ背面のUSB（録画専用）端子に接続したUSBハードディスクにデジタルテレビ放送番組を録画できます。（データ放送、外部入力（HDMI 1～3、ビデオ入力）で視聴している動画の映像・音声は録画できません）
 - ・ USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク	<ul style="list-style-type: none">・ USBハードディスクの電源を入れておきます。・ USBハードディスクの残量を確認します。・ 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。 ※ 残量不足や番組数超過（1000を超過）になる場合は、事前に不要な番組を削除します。

USBハードディスクは、テレビに登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をするときに接続した機器が選択できない場合は、USBハードディスクを登録してください。
- USBハードディスクの登録のしかたはP.24を確認してください。
- USBハードディスクはバスパワー方式ではなく、専用のACアダプタを接続するセルフパワー方式のものを接続してください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は64です。最大録画番組数は1000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」が「削除しない」に設定されています。



● USBハードディスクについて

USBハードディスクは使用状況によっては数年で故障する可能性があり、テレビに接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存には適していないため、一時的な保存・再生機能としてご使用ください。



● USBハードディスクへの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画したテレビ番組は正しく保存されません。

● 予約録画の開始時に自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。

● 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。

● テレビの故障や受信障害などによって正常に録画・再生できなかった場合の補償、損失、損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。

録画用USBハードディスクの接続をする

- テレビにUSBハードディスクを接続し、登録することで、テレビ番組の録画、録画予約、録画したテレビ番組の再生ができます。



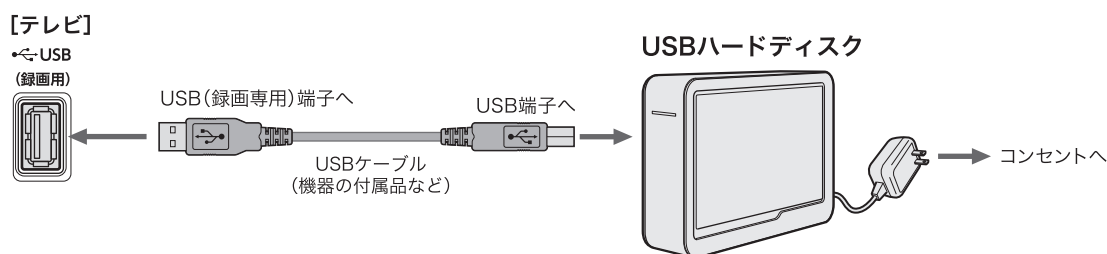
- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクをテレビに接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- テレビで使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があり、テレビで録画した番組はすべて消去されます。
- テレビに接続したUSBハードディスクを取り外す場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の手順で「機器の取りはずし」の操作をしてください。
- 録画したテレビ番組が消去されたり、USBハードディスクが故障したりする原因となるため、USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。

USBハードディスクを接続する

- USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

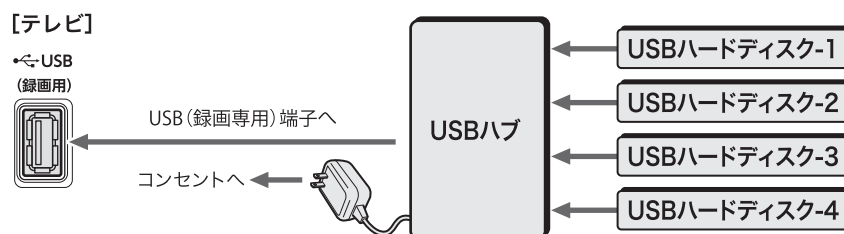
USBハードディスクが1台のとき

- USBハードディスクは、USB（録画専用）端子に接続します。



USBハードディスクが複数のとき

- USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
- ※ 8台までのUSBハードディスクをテレビに登録でき、4台まで同時に接続できます。
- ※ 複数台のUSBハブを経由してテレビにUSBハードディスクを接続することはできません。



- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態でテレビの電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理を行ってから次のUSBハードディスクを接続してください。

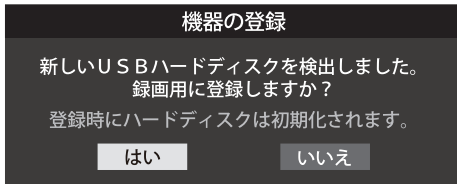
USB ハードディスクの設定をする

USB ハードディスクをテレビに登録する

- テレビが未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順でテレビに登録します。

1 ◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 登録しないときは「いいえ」を選びます。



※初期化をすると、USB ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

※「いいえ」を選択した場合、そのUSB ハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSB ハードディスクを登録する場合は、次の「USB ハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、**決定**を押します。
- スペースだけの名称は登録できません。

4 登録したUSB ハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

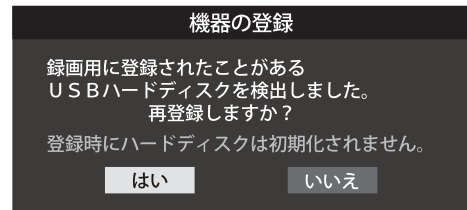
- 録画や予約などでの録画機器の初期候補になります。
- ※録画機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。

5 <録画ムーブのご注意>などの内容を読み、**決定**を押す

- 録画中や録画予約が設定されているときは、テレビやUSB ハードディスク、USBハブなどの電源プラグを抜かないようにしてください。

6 登録結果を確認し、**終了**を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき



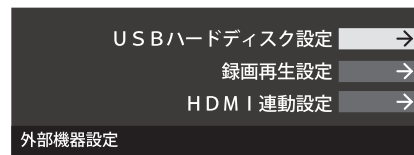
- 「はい」を選んでを押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。
- ※再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、テレビ内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、テレビを交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録（新しいハードディスク）として認識され、初期化して使用することになり、初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USB ハードディスクの設定をする

- USB ハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 **メニュー** を押し、▲・▼とで「設定」⇒「外部機器設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む



2 設定する項目を▲・▼で選んで**決定**を押し、以降の手順で設定する

USBハードディスクの登録

- リストに「未登録」と表示されている USBハードディスクを登録したり、USBハードディスクの登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。

※登録できるのは8台までです。

※USB ハードディスクによっては、USBハードディスクの登録画面でモデル名が正しく表示されない場合があります。

■USBハードディスクを登録するとき

※はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 登録する USBハードディスクを▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
- 3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
※初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果を確認し、**決定**を押す

■登録名を変更するとき

- ①登録名を変更するUSBハードディスクを▲・▼で選び、決定を押す
- ②◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- ③文字入力画面で登録名を入力する

■登録を解除するとき

- ①登録を解除するUSBハードディスクを^赤で選び▲・▼を押す
- ②◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
※予約が設定されているUSBハードディスク(録画予約アイコン付)は、再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクごとに設定を変えることはできません。
- ※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「一時間一分」と表示される場合は、少し待ってから操作してください。
- ※USBハードディスクによっては、表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※テレビの電源が「切」や「待機」のときでも「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ※USBハブを使用している場合、テレビの電源が「切」や「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

- ①▲・▼で以下から選び、決定を押す
オン …… USBハードディスクを使用しない状態がしばらく続くと、USBハードディスクの電源が待機状態になります。
オフ …… テレビの電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常に「入」の状態になります。

USBハードディスクの取り外し

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするとき、事前に取り外しの操作が必要になります。
- ①取りはずす機器を▲・▼で選び、決定を押す
 - ②確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す
※停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。
 - ③USBハードディスクを取り外し、決定を押す

動作テスト

- USBハードディスクのテストします。
- ①テストする機器を▲・▼で選び、決定を押す
 - テストが始まると、終了までに数分間かかります。
 - テストが終わると結果が表示され、テスト結果が「OK」となった動作が可能となります。
 - ・録画 …… ハイビジョン画質で録画ができるか
 - ・録画中の再生 …… ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
- ※テスト結果は目安であり、結果通りの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。

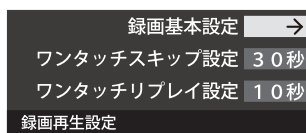
※初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- ①初期化する機器を▲・▼で選び、決定を押す
- ②初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す
- ③初期化終了の画面で決定を押す

録画の基本的な設定をする

- USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。


1  を押し、▲・▼と  で「設定」⇒「外部機器設定」⇒「録画再生設定」の順に進む

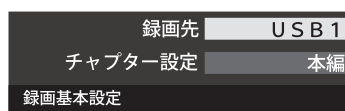


2 以降の手順で設定する

録画に使用する機器を設定する

- 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

① ▲・▼と  で「録画基本設定」⇒「録画先」の順に進む



② 録画に使用する機器を▲・▼で選び、 を押す



番組を録画する

- テレビ番組を録画するときは、以下の操作をします。
- ※ USB ハードディスクに録画中は、この操作はできません。

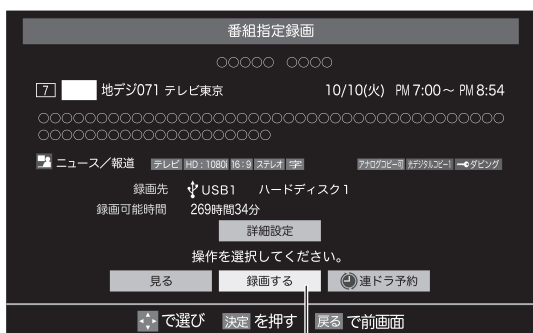
1 テレビ番組を見ているときに **番組表** を押す

- 番組表が表示されます。
- ミニ番組表からも録画できます。

2 録画する番組（放送中）を **▲・▼・◀▶** で選んで、**決定** を押す

- 番組指定録画面が表示されます。

3 **▲・▼・◀▶** で「録画する」を選び、**決定** を押す



「録画する」を選びます。

- 現在の設定で録画が開始されます。
- 設定を変更して録画する場合は、右の説明をご覧ください。
- ※放送中の番組を録画中にテレビの電源を「待機」か「切」にした場合、録画はそのまま継続されますが、予約録画優先されるため、正しく録画されない場合があります。

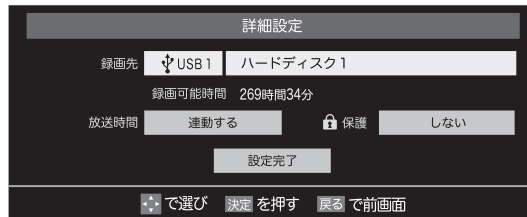
録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。

- 1 録画中に **終了** または **停止** を押す
 - 2 「録画中止」の画面で、**◀▶** で「はい」を選んで **決定** を押す
- ※予約録画による録画中の場合も同様です。
- ※USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

録画の設定を変更してから録画するとき

- 1 手順3で「録画する」を選んでから「詳細設定」を選び、**決定** を押す。



- 詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面でできる設定

■録画先の機器の変更

- 1 「録画先」で録画機器を選び、**決定** を押す。
- 2 **▲・▼** で「設定完了」を選び、**決定** を押す。

■放送時間の変更

- 1 「放送時間」で「連動する」か「連動しない」を選び、**決定** を押す。
連動する： 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画します。
連動しない： 番組遅延の情報とは連動せずに、録画を開始するときに番組指定録画面に表示される番組終了時間まで録画します。
- 2 **▲・▼** で「設定完了」を選び、**決定** を押す。

留守録機能について

- 録画予約を設定することで自動的に番組を録画できます。
- 録画の開始時間になると、録画する番組のチャンネルに自動的に切り換わります。

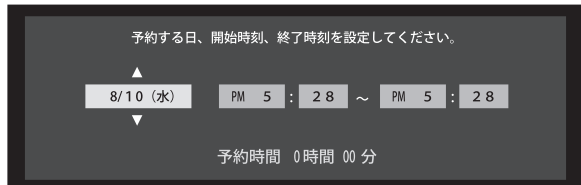
日時を指定して予約をする/番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

1 **番組表** を押し、次に **黄** を押す。
●予約リストが表示されます。

2 **青** を押す
●日時指定予約画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する



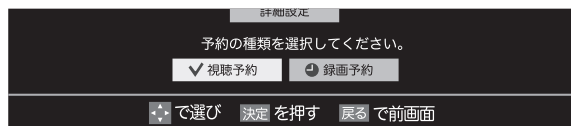
- 1 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で日時を設定する
●6週間先まで指定できます。
●「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
●設定できる時間は最大23時間59分です。
- 2 設定が終わったら、**決定** を押す

4 録画するチャンネルを設定する



- 1 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ
・放送メディア …… テレビ/データ
・チャンネル …… 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル
- 2 設定が終わったら、**決定** を押す

5 ▲▼◀▶で「視聴予約」か「録画予約」を選び、**決定** を押す

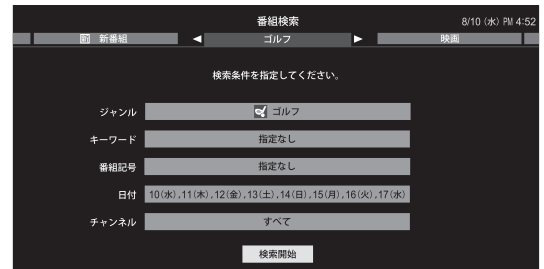


6 「予約を設定しました。」が表示されたら、**決定** を押す

番組を検索して録画・予約をする

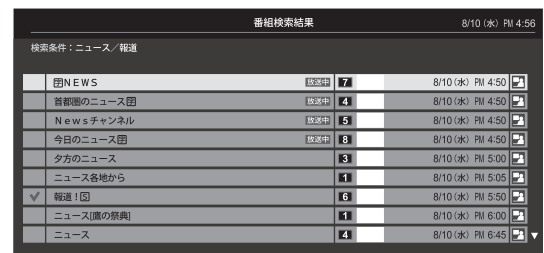
1 **番組表** を押す
●番組表が表示されます。

2 **緑** (番組検索) を押す
●番組検索画面が表示されます。



3 番組表から録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲▼で選び、**決定** を押す



5 録画・予約をする

- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻り、他の番組の予約を続けることができます。



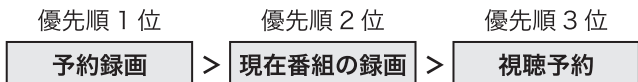
●日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

録画を中止するとき

- 予約録画と他の録画や視聴予約などが重なった場合、予約録画が優先され、他の録画や視聴予約は正しく保存されません。



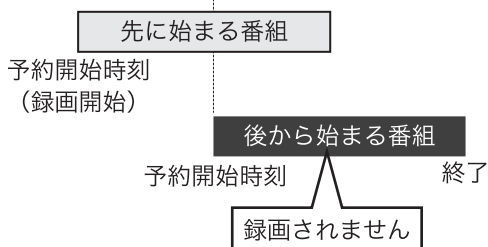
- 録画終了直後の時刻から始まる番組を視聴予約してもその視聴予約は実行されません。

例：8時から9時までの番組を録画している場合
9時からの視聴予約は実行されません。

予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合、後から始まる番組の予約は実行されません。

予約開始時刻の早い番組を優先



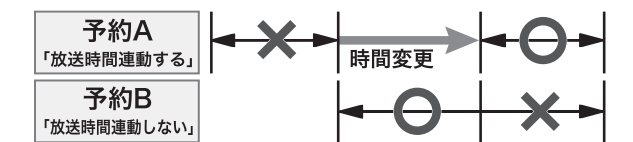
- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約 15 秒が録画されません。

放送時間に変更されたとき

- 予約した番組の放送時間に変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。
- 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

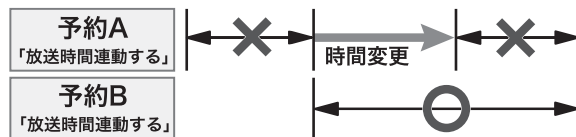


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約が重なった場合

① 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

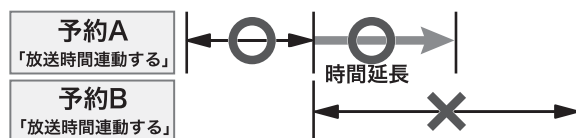
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



② 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先され、開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



③ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 最初に予約設定した番組が優先され、2 番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

予約した番組放送が始まる時

- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。
- 予約録画の場合は、予約したチャンネルに切り替わります。

予約した番組の放送中

- 予約録画した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 予約録画した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- テレビを通常通りに使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 を押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

① で分類タブを切り替える

- 6週間先まで指定できます。

すべて ……	すべての録画番組が表示されます。
未視聴 ……	未再生の録画番組が表示されます。
曜日別 ……	録画した曜日ごとに表示されます。
ジャンル別 ……	ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。

② でグループタブを切り替える

- 分類が「すべて」と「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組のみリストに表示されます。

3 見たい番組を ▲・▼ で選び、を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生）。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送に戻ります。
- 再生中のリモコン操作はP.31を確認してください。

4 番組再生を終了するには、 か を押す

録画した番組を再生する つづき

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内容
再生 	一時停止や早送り/早戻し再生から通常の再生に戻ります。 ・テレビ番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
一時停止/停止 	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
停止 	再生を終了します。
早送り 	早送り再生をします。(押すごとに速さが4段階で変わります)
早戻し 	早戻し再生をします。(押すごとに速さが4段階で変わります)
30秒送 	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
10秒後 	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
録画リスト 	録画リストが表示されます。

※録画中の番組を再生する場合、早送りや早戻しなどが正しく動作しないことがあります。
 ※録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどによって映像が表示されなくなる場合がありますが、通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

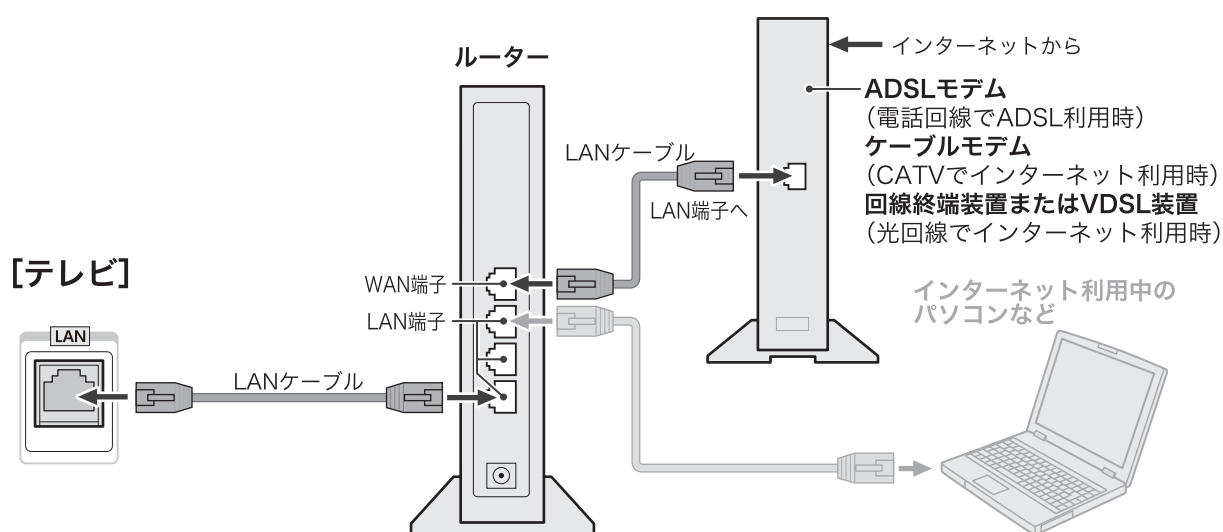
インターネットを利用するための接続をする

テレビをインターネットに接続したときにできること

できること	内容
データ放送の 双方向サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※テレビは電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

接続のしかた

- インターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、テレビの LAN端子とルーターのLAN端子を市販の LANケーブルで接続します。
- モデムとルーターが一体化されている場合など、詳しくはそれぞれの取扱説明書をお読みください。



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、テレビと接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- テレビのLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品に接続してください。
- 通信事業者やプロバイダーとの契約費用や利用料金などは、お客様のご負担となります。
- 以下、契約の通信事業者やプロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・契約内容によっては、テレビやパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・テレビを利用できないことがあります。
 - ・ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・回線状況によって、うまく通信できないことがあります。

お知らせ

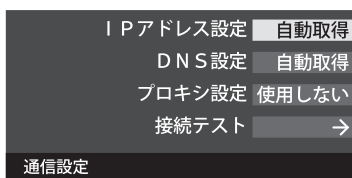
- テレビでは、ルーターやモデムの設定はできません。
- テレビはダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- 正しく設定されていない回線にテレビのLAN端子を接続すると、テレビが正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 を押し、▲・▼と **決定** で「設定」⇒「初期設定」⇒「通信設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで、**決定** を押す



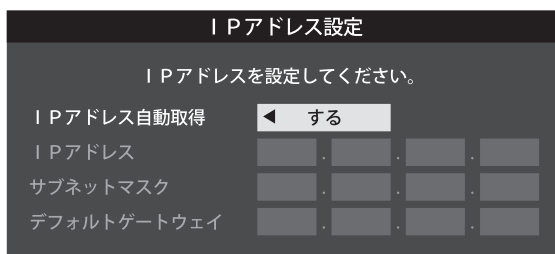
3 必要に応じて設定する

IPアドレス設定

- インターネットに接続するために、テレビに割り当てられる固有の番号を設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

① IPアドレスを自動取得できる場合は、◀・▶で「する」を選ぶ



自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ◀・▶で「しない」を選ぶ
- ② ▲・▼で「IPアドレス」を選び、**1** ~ **10** (0) で入力する
- ③ ▲・▼で「サブネットマスク」を選び、**1** ~ **10** (0) で入力する
- ④ ▲・▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、**1** ~ **10** (0) で入力する
・②~④では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
・欄を移動するには、▶を押します。

② **決定** を押す

DNS 設定

- ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。

① DNSアドレスを自動取得できる場合は、◀・▶で「する」を選ぶ

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ◀・▶で「しない」を選ぶ
- ② ▲・▼で「DNSアドレス(プライマリ)」を選び、**1** ~ **10** (0) で入力する
- ③ ▲・▼で「DNSアドレス(セカンダリ)」を選び、**1** ~ **10** (0) で入力する
・②~③では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
・欄を移動するには、▶を押します。

② **決定** を押す

プロキシ設定

- インターネットとの接続時にプロキシサーバーを経由する場合に設定します。

●通信事業者やプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。

●ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

① ▲・▼で「使用する」を選び、**決定** を押す

② ▲・▼で「サーバー名」を選び、**決定** を押す

③ サーバー名を入力する

入力できる文字は半角英字/半角数字で、記号は半角の！"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^`?/_/です。

④ ▲・▼で「ポート番号」を選び、**1** ~ **10** (0) でポート番号を入力する

⑤ ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定** を押す

接続テスト

●「通信設定」が正しいかテストし、テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。

●「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。

●正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで **決定** を押します。

再テストを行っても接続できない場合は、「通信設定」を選んで **決定** を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク情報

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。

ネットワークに関するお知らせ・用語



■IP アドレス設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能 (IP アドレスを自動的に割り当てる機能) が ON のときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターの DHCP 機能が OFF のときは、「自動取得」を「しない」にし、手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器と IP アドレスが重複しないように設定します。(設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません)
- 設定終了後、テレビに設定された IP アドレスとルーターのローカル側に設定された IP アドレスのネットワーク ID 部分がそれぞれ同じであることを確認します。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■DNS 設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能が ON のときは、DNS アドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能が OFF のときは、DNS アドレスの「自動取得」を「しない」にし、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■通信設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - (1) LAN 端子の接続状態と「通信設定」を確認する
 - ・正しく接続・設定されているかご確認ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)
 - (2) ネットワーク環境の接続確認
 - ・テレビと同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。(ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します)

■PPPoE 設定について

- テレビでは PPPoE の設定はできません。PPPoE はルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)



■IP アドレス

インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■DNS サーバー

ドメイン名 (xxx.co.jp など) を IP アドレスに置き換える機能を持つサーバーで、テレビでは自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定された DNS アドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します (例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2 サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例: 255.255.xxx.xxx)

■デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IP アドレスで特定されています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■プロキシ

HTTP プロキシサーバーからファイアウォールを越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができるものです。指定があるときだけ設定してください。(例: proxy.xxx.xxx.xxx)

■MAC アドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

●地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。

初期スキャン … 「はじめの設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。

再スキャン …… 放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

自動スキャン …… テレビの電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

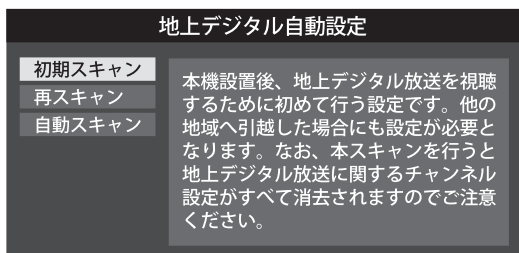
※初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

●受信可能なチャンネルをテレビが探し、ワンタッチ選局ボタン **①** ~ **⑫** に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 を押し、▲・▼と **決定** で「設定」⇒「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル自動設定」⇒「初期スキャン」の順に進む

●画面の説明をよくお読みください。



2 お住まいの地方を ▲・▼・◀▶ で選び、**決定** を押す

3 お住まいの都道府県や地域を ▲・▼・◀▶ で選び、**決定** を押す

●下図の画面が表示された場合は画面の指示にしたがって、「データ放送用メモリの割り当て」を行なってください。

初期スキャン				
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超過しています。メモリの割り当てたい放送局を9つ選んでください。				
メモ	放送局	受信状態	メモリ割当	
<input checked="" type="checkbox"/>	11	テレ玉	○	あり
<input checked="" type="checkbox"/>	12	テレビ東京	○	あり
<input type="checkbox"/>	--	NHK総合・新潟	○	あり
<input type="checkbox"/>	--	NHKEテレ新潟	○	あり
<input type="checkbox"/>	--	BSN	○	あり

選択した放送局の数：12

4 初期スキャン終了の画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

5 設定内容を確認したら、**決定** を押す

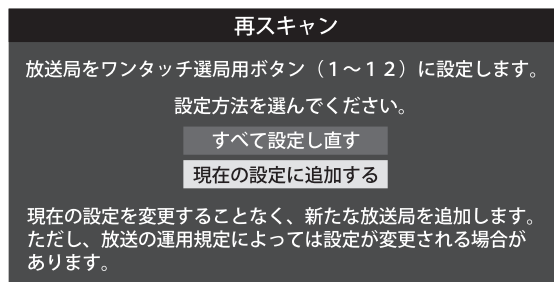
再スキャンをするとき

●新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 を押し、▲・▼と **決定** で「設定」⇒「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル自動設定」⇒「再スキャン」の順に進む

2 下図の画面が表示されたら、どちらかを選び、を押す

●画面の説明を読んで、**①** ~ **⑫** への設定方法を選びます。



3 再スキャン終了の画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

4 設定内容を確認したら、**決定** を押す

自動スキャンの設定を変えるとき

●お買い上げ時は「自動スキャンする」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、「自動スキャンしない」に設定してください。

1 を押し、▲・▼と **決定** で「設定」⇒「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル自動設定」⇒「自動スキャン」の順に進む

2 ▲・▼で「自動スキャンする」か「自動スキャンしない」を選び、**決定** を押す

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

●お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。

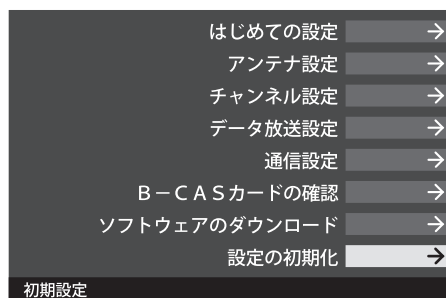
●テレビの設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

※データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）などについてもすべて初期化されますので、テレビを廃棄する場合や譲渡する場合に行ってください。

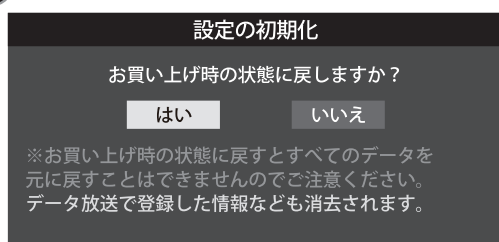


※初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできません。

- 1 を押し、▲・▼と で「設定」⇒「初期設定」⇒「設定の初期化」の順に進む



- 2 初期化する場合は ◀▶ で「はい」を選び、 を押す



- 3 初期化終了の画面が表示されたら、電源を切る

対応フォーマット

対応しているHDMI 入力信号フォーマット

- 「VESA 規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI 入力端子ではVESA 規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、正しく表示されないことがあるため、下表に示した入力信号に合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。
一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があります。
- パソコンを接続する場合は、リフレッシュレートは 60Hz を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○
2160p※1	3840×2160	59.94/60Hz	134.866/135.000kHz	296.703/297.000/ 593.407/594.000MHz	

※1 HDMI3 の端子のみ対応し、HDMI1～2の端子は非対応です。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	テレビ放送		放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
	ラジオ放送		複数の映像、または音声またはデータがある番組
	データ放送		視聴年齢制限が設定されている番組
	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送		録画回数が制限されている番組
	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送		デジタル録画ができる番組
	ステレオ音声放送		有料でデジタル録画ができる番組
	サラウンドステレオ放送		デジタル録画ができない番組
	二重音声放送		光デジタル録音ができる番組
	字幕放送		1回のみ光デジタル録音ができる番組
	マルチビューサービス(複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り替わる番組)		有料で光デジタル録音ができる番組
	デジタルハイビジョン放送		光デジタル録音ができない番組
	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送		アナログ録画ができる番組
	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送		有料でアナログ録画ができる番組
	デジタル標準テレビ放送		アナログ録画ができない番組
	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送		

●テレビの機能とは無関係に番組に付加された情報として表示されるものがあります。

その他のアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	録画予約		録画番組が「保護」対象
	連ドラ予約		録画番組が「上書き」対象
	視聴予約		未読の「お知らせ」
	録画中		既読の「お知らせ」
	録画準備中(録画の約1分前に表示)		データの取得中
	録画確認中(前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示)		非リンク型サービス(通信番組)
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示		SSLなどの暗号通信中

主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

サイズ	50V 型
アスペクト比	16 : 9
液晶パネル方式	VA 方式 LED パネル (4K パネル)
画素数 (垂直 × 水平)	3840x2160
最大表示色数	約 10 億 7400 万色 (8bit+FRC)
輝度	360cd/m ²
コントラスト比	5000: 1
応答速度	9.5ms (GtoG)
バックライト搭載方式	直下型 LED バックライト
視野角	左右 178°、上下 178°
スピーカー	10W+10W
チューナー	地上デジタル ×2 BS・110 度 CS デジタル ×2
受信チャンネル	VHF(1 ~ 12ch)、UHF(13 ~ 62ch)、CATV(C13 ~ C63) BS Digital +CS Digital : 1032 ~ 2071MHz
入力端子	地上デジタル用 F 型端子 (75Ω)×1 CS/BS デジタル用 F 型端子 (75Ω)×1 コンポジットビデオ入力 (映像入力用 ×1、ステレオ音声用 ×2) HDMI×3 (HDMI1 : ARC , HDMI3 : 4K) データ放送用 LAN 端子 ×1 録画 HDD 用 USB2.0 端子 ×1 miniB-CAS カードソケット ×1
出力端子	音声光デジタル出力 (S/PDIF 出力端子)×1 ヘッドホン用 3.5mm 音声出力端子 ×1
重量	スタンドあり : 約 11kg スタンドなし : 約 10.7kg
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	スタンドあり : 1127×695×286(mm) スタンドなし : 1127×666×66(mm)
VESAマウントインタフェース	400×400(mm) ねじ M6×17mm
動作温度範囲	5 ~ 35°C
動作湿度範囲	10 ~ 80% (結露なきこと)
保管温度範囲	0 ~ 45°C
保管湿度範囲	10 ~ 80% (結露なきこと)
使用電源	AC100V(50Hz/60Hz)
省エネ法区分	DN1
定格消費電力(待機時)	135W(0.4W)
年間消費電力量	122kWh/年
生産国	中国

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	カスタマサポートサービス
カスタマサポートダイヤル	03-6687-4007
受付時間	10:00～12:00 / 13:00～17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・故障やご使用上のご質問は、サポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。
- ・お問い合わせの前に、取扱説明書や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・カスタマサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

付属品のお買い求めは『グリーンハウスストア』をご確認ください。

グリーンハウスストア ホームページ

<https://www.greenhouse-store.jp/>

お買い替えや廃棄をされる場合は、電器店やリサイクルショップ、自治体へリサイクルをご依頼ください。
リサイクルをご依頼の際は、製造業者等コード：**752**、品目コード：**52**とお伝えください。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

カスタマサポートサービス

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

カスタマサポートダイヤル

03-6687-4007

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問はカスタマサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F

<https://www.green-house.co.jp>